

\*\* 2012年6月改訂 (第5版)

\* 2009年6月改訂

貯 法：保存条件 室温保存  
容 器 気密容器  
使用期限：ラベルに記載

日本標準商品分類番号

872661

承認番号 16100AMZ00074000

薬価収載 2012年6月

販売開始 2006年1月

\*\*

皮ふ軟化剤

日本薬局方 氷酢酸

\*\* 氷酢酸 「NikP」

GLACIAL ACETIC ACID

### 【組成・性状】

#### 1. 組成

1mL中 日本薬局方 氷酢酸 1mL含有。  
(酢酸 (C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>O<sub>2</sub>) 99.0%以上を含有)

#### 2. 製剤の性状

本品は無色澄明の揮発性の液又は無色若しくは白色の結晶塊で、刺激性の特異なおいがある。

本品は水、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。

沸点：約118℃

比重  $d_{20}^{20}$ ：約1.049

凝固点：14.5℃以上

### 【効能・効果】【用法・用量】

洗淨液、収れん液の調剤に用いる。

また、緩衝・矯味の目的で調剤に用いる。

### 【使用上の注意】

#### 適用上の注意

- (1)そのままの液を内服しないこと。
- (2)眼に入らないよう注意すること。万一眼に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い流し、直ちに眼科専門医の処置を受けること。
- (3)刺激作用があるので皮膚に付着した場合には、すぐに多量の水又はぬるま湯で洗い流すこと。
- (4)誤って摂取した場合、口、咽喉、腹部に激痛を与え粘膜に潰瘍を生じ、嘔吐、吐血、下痢を起こし、呼吸及び体温の異常、虚脱等の症状とともに、たん白尿、尿毒症を併発する。激痛にはモルヒネ注射を行い、牛乳、卵白、水酸化マグネシウム又はカルシウムを与える。炭酸塩、炭酸水素塩の投与は避け、胃洗淨は行ってはならない。慢性中毒症状としては顔面蒼白、悪液質、歯腐食、気管支炎、胃障害等が起こり、製造現場において常時蒸気に接すると結膜炎、眼瞼炎を伴う。

### 【取扱い上の注意】

第2石油類危険等級Ⅲ水溶性 火気厳禁

### 【包 装】

500mL

### 【文献請求先】

日医工株式会社 お客様サポートセンター

〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21

フリーダイヤル (0120) 517-215

Fax (076) 442-8948

\*\*



製造販売元

日医工株式会社

NICHIKO 富山市総曲輪1丁目6番21